

# 平成29年度事業計画（総括）

## I. 国・県予算の状況

- ・県の第2次定住対策重点化期間3か年(H27-29)の最終年
- ・県の10%マイナスシーリングの中、H28を超える予算額を確保

### (1) 国(厚生労働省)

若年者地域連携事業(全国枠)

H28 14.3億円 → H29 13.5億円 (▲5.6%)

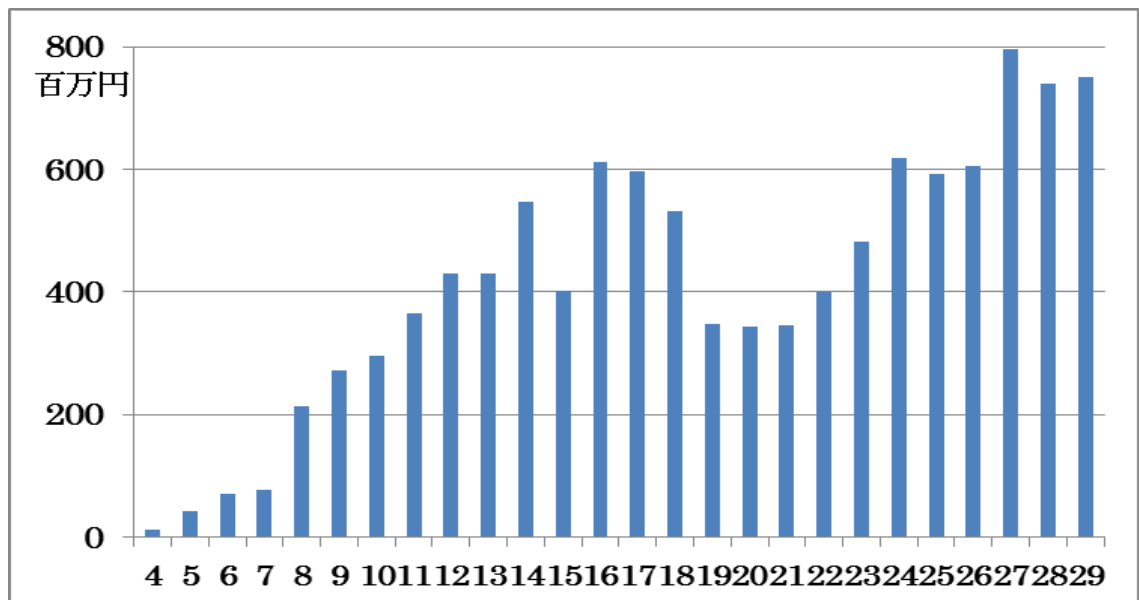
### (2) 定住関連予算(県しまね暮らし分)

H28 630百万円 → H29 631百万円(±0%)

### (3) 定住財団の予算

(単位：百万円)

財源区分		H28予算	H29予算	増減	摘要
財 団		94	68	▲26	
島根県	地域振興部	469	493	24	しまね暮らし推進課
	環境生活部	16	22	6	NPO推進室
	商工労働部	136	144	8	雇用政策課
	小計	621	659	38	
厚生労働省		24	24	0	若年者地域連携事業
計		739	751	12	



都道府県間の競争が激化する中、「若年者の県内就職の促進」、「県外からのUターン促進」、「活力と魅力ある地域づくりの推進」を着実に継続して実施する。

## II. 若年者の県内就職の促進の主要事業

### 1. 就職フェア等の状況

#### ①企業ガイダンス

	H27			H28		
	開催日 場所	参加者数	企業数	開催日 場所	参加者数	企業数
県内 ガイダンス	5/30 浜田	45人	46社			
	6/6 松江	285人	148社			
	12/27 松江	330人	105社	12/28 松江	522人	125社
	3/6 松江	619人	206社	3/7 松江	535人	203社
県外 ガイダンス (鳥取との 合同開催)	4/18 広島	135人	66社	4/9 大阪	206人	96社
	5/17 大阪	191人	78社	4/16 東京	60人	42社
	5/23 東京	73人	48社			
	※3/15 東京	25人	31社	3/11 東京	40人	49社
	3/29 広島	83人	68社	3/25 広島		

※島根県の単独開催

#### ②就職フェア

	H27			H28		
	開催日 場所	参加者数	企業数	開催日 場所	参加者数	企業数
県内就職 フェア				6/12 松江	274人	156社
				6/18 浜田	14人	45社
	8/9 浜田	34人	41社	8/21 浜田	14人	31社
	8/12 松江	250人	129社	8/27 松江	124人	120社
	10/31 松江	101人	48社	10/29 松江	46人	40社
	1/24 浜田	3人	21社			
	1/29 松江	27人	27社			
県外就職 フェア	10/3 広島	27人	30社	6/26 広島	15人	39社
				7/3 東京	15人	19社
				7/16 大阪	10人	19社
				7/24 大阪	17人	14社
				9/4 広島	13人	19社
				10/16 東京	28人	19社

※H28年度は、面接などの選考活動の解禁が8月から6月に前倒しとなった。

### ③インターンシップの状況

項目／時期	H26年度			H27年度			H28年度		
	夏期	春期	計	夏期	春期	計	夏期 7月下旬 ～9月末	春期 1月下旬 ～3月末	計
申込企業数（社）	99	89	<b>188</b>	138	104	<b>242</b>	140	112	<b>252</b>
マッチング企業数 （社）	83	63	<b>146</b>	99	74	<b>173</b>	111	75	<b>186</b>
申込学生数 （名）	230	113	<b>343</b>	277	148	<b>425</b>	342	124	<b>466</b>
マッチング件数 （件）	227	120	<b>347</b>	283	164	<b>447</b>	339	134	<b>473</b>

#### H28の状況

##### ●就活スケジュールの変化

2017年3月卒業生から、面接などの選考活動の解禁日が8月から6月へと2か月前倒しとなったことにより就活期間が「短期化」となった。それに伴い、就活スタート前にインターンシップ等を通じて企業情報を収集し、合同企業説明会への参加は必要最小限にとどめ、各企業の個別説明会に早めに参加するという就活の「効率化」「早期化」が進んでいる。

##### ●地方企業の採用活動の遅れ

都市部の企業は、大学3年生の夏のインターンシップを通じて学生にアプローチすることで採用活動を実質開始している。一方、地方の企業は経団連の指針に沿って大学3年生の3月から採用活動を開始しており、「就活期間の短期化」により従来以上に人材確保に苦戦している。

##### ●売り手市場

現在は明確に売り手市場であり、また、大手企業の採用意欲の高まりを受け、大手志向の学生が増えている。

そうした中、県内中小企業の人材不足は極めて深刻な状況にある。

## H29の事業展開

H28年度は、従来から県・国から受託し実施してきた事業に加え、新たに東京・大阪での就職フェアの開催や全ての県内イベントへの無料就活バス運行などを実施した。H29年度は、H28年度の実績を踏まえ、次のとおりさらに戦略的・効果的に事業を展開する。

### (1)企業と学生の出会いの場の充実

#### ①効果的な就活イベントの実施

本年度の「就活期間の短期化」の状況に鑑み、県外での就職フェア（面接会）に替え、効果的な時期（年度前半）に単独の企業ガイダンス（企業説明会）を集中的に実施する。

#### ②インターンシップの促進

大学生等インターンシップ・高校生インターンシップへの参加者に対する助成を引き続き実施する。

- ・助成内容:高校生…宿泊費・旅費の全額助成  
大学生等…宿泊費の1/2助成

#### ③しまね企業交流セミナーの充実

県内就職の魅力を伝えるため、都市部（広島・大阪・東京）において低学年次の学生を対象とし、島根県内で活躍する企業人・社会人と学生が交流するセミナーを実施する。H28年度の実績等を踏まえ、より効果的な時期により学生に響く内容で実施する。

### (2)学生に向けての情報発信力の強化

#### ①学生登録制度の推進

学生に向けて適時に適切な情報（学年に応じた情報）を送付するため、高等学校と連携しながら、学生登録を推進する。高等学校には、登録の呼びかけや進学先情報の提供（H27.3より）などで引き続き協力を依頼する。

#### ②大学との連携強化

県内大学のキャリアセンターや県と「就職支援に関する協定」を締結している県外13大学を中心に就活イベントやインターンシップ等への参加の呼びかけ等において連携を強化する。

### (3)保護者へのアプローチ

#### ①大学保護者会を通じたアプローチ

県内外の大学が県内で開催する保護者会において、県内就職を取り巻く状況や県内企業の魅力、学生登録の呼びかけを引き続き行う。

#### ②保護者が参加するイベントを通じたアプローチ

県教育委員会が開催する「合同企業セミナー」など、保護者も参加対象のイベントについて引き続き連携・協力する。

### Ⅲ. UIターン推進関連の主要事業

#### 1. UIターンフェア等の開催・集客状況

##### H28の状況

##### UIターンフェアの来場者数が過去最高を記録

- ・東京会場を東京交通会館からより誘客の見込める東京国際フォーラムに変更
- ・東京会場では、新たに「企業の魅力&しまねの仕事発見エリア」を設置 県内企業21社が参加（公益財団法人しまね産業振興財団と連携）
- ・従来の周知方法に加え、過去イベントの来場者（未登録者）に開催案内（メール）した他、大手転職サイトで出展企業の求人やUIターンフェアを告知

##### 【UIターンフェアの開催状況】

	H24	H25	H26	H27	H28	開催日・場所
広島	80	182	181	246	214	9/10 基町クレド
大阪	240	275	390	387	517	10/15 梅田スカイビル
東京	258	325	551	647	867	11/23 東京国際フォーラム
計	578	782	1,122	1,280	1,598	H27-H28 +318

##### 【財団主催 相談会・フェア】

名称	開催日・場所	H28実績			(参考)H27		
		全体	相談者数		全体	相談者数	
		来場者	組数	人数	来場者	組数	人数
しまねUIターン相談会 in大阪	6/19 梅田スカイビル	128	43	50	72	15	17
しまねUIターン相談会 in東京	7/24 東京交通会館	143	36	41	125	16	20
しまねUIターン相談会 in大阪	1/29 梅田スカイビル	117	36	42	120	37	43
しまねUIターン相談会 in東京	2/19 東京交通会館	194	52	69	125	26	30
地域おこし協力隊マツ チングフェアin東京	4/23 移住交流ガーデン	34	6	6	27	3	4
しまねの教育ナイトin 大阪	6/25 大阪	59			50		
しまねの教育ナイトin 東京	6/26 東京	72			60		

【全国巡回相談】（2月末実績）

23 都道府県、48 か所で実施

	北海道	岩手	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	鳥取	岡山	広島	山口	香川	福岡	長崎	大分	計
回数	3	1	1	1	10	3	1	1	2	1	1	1	5	2	1	1	2	5	2	1	1	1	1	48
人数	7	1	1	3	37	11	1	1	4	2	1	2	15	4	2	1	4	12	4	1	1	1	3	119

## H29の事業展開

①様々なUIターンイベントを開催し、都市圏のUI希望者を継続してフォロー

②UIターンフェアの質的・量的拡充

- ・本年度に引き続き、東京会場に企業ブースを設置、加えて大阪会場においても会場スペースを拡大し、企業ブースを設置
  - ・来場者のニーズに応じた新規ブースを設置（漁業、地域おこし協力隊等）
- ※全国巡回相談はH28年度で一旦終了→フェア・相談会等の前後で対応

③都市圏で将来的なUIターン予備軍を緩やかに囲い込み

- ・島根に関心を持つ県外在住者や島根出身者をターゲットにした「しまねナイト」を東京、大阪、広島で引き続き開催

## 2. 無料職業紹介事業の状況

### H28の状況

2月末の就職決定者数は、前年2月末と比較し、8人上回っており、順調に推移すれば、過去最高を記録した前年を上回る可能性が高い。

### 【マッチング件数の推移】

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
就職決定者	H27	21	10	20	21	19	24	17	21	22	33	27	20
	累計	21	31	51	72	91	115	132	153	175	208	235	255
	H28	32	18	23	21	19	21	18	21	21	20	27	
	累計	32	50	73	94	113	134	154	175	196	216	243	
	大田以西	4	3	5	5	4	2	8	3	3	3	9	
	石見事務所	4	1	1	0	0	0	0	0	1	1	7	

## H29の事業展開

嘱託職員2名を増員（松江1、浜田1）

- ・マッチング機能を強化
- ・商工団体等と連携した求人の掘り起こしを実施（企業向けセミナーの開催等）
- ・H27にリニューアルした「くらしまねっと」の利用促進のための更なる周知を実施

### 3. 産業体験事業

認定年度	H24	H25	H26	H27	H28 2月末	累計 (H8~28)
認定者	83	60	81	83	76	1,735
体験修了者	83	60	80	63	3	1,641
うち定着	56	36	57	54		764
定着率	67.5	60.0	71.3	85.7		46.6

※認定者数 対前年2月末と同数

#### H29の事業展開

- ・近年の体験者数の伸びに応じた十分な予算額を確保し、各種相談会での相談対応や「くらしまねっと」での情報発信の強化により体験者の増を図る。
- ・きめ細やかな体験者へのフォローや関係機関との連携を強化し、定着率の向上を図る。

## IV. 活力と魅力ある地域づくりの関連の主要事業

### 1. 地域づくり支援

#### ①地域づくり応援助成事業

今年度から新たな活動や組織の立ち上がりを促すため、立ち上げ支援事業を新設し実施

#### H28の状況

##### 【立ち上げ支援事業】

第1回審査会（8月9日） 申請 6件 → 採択 5件

第2回審査会（1月12日） 申請 10件 → 採択 9件

事業主体（地域）	事業概要	申請額（千円）
NPO法人高齢者朗らかプロジェクト（松江市）	認知症予備軍を認知症にしないための元気高齢者ボランティア支援事業	300
わっしょい志々会（飯南町）	地域は地域みんなで明るく守る！「地域交流サロン」と「ご用聞き店サザエさん」の開設	500
すがし家（雲南市）	閉店した商店をみんなでコミュニティースペースに	500
UNNANアートスタート実行委員会（雲南市）	UNNANアートスタート「アートを使った地域づくり」プロジェクト	500
社☆ガール（松江市）	神々の森の香りのプロジェクト	500
NPO-MASUDA（益田市）	秦佐八郎博士顕彰活動	500
森と畑と牛と（奥出雲町）	NOYAMAプロジェクト～林間放牧地由来農産加工品の企画開発事業	500
里山照らした隊（雲南市）	夢民谷（むうみんだに）炭を活かした元気プロジェクト	500
里山笑楽校（雲南市）	棚田カフェでHOT一息事業	356
かみつお助けマン互助会（出雲市）	上津地区の暮らしの応援隊 立上げ事業	400
ProjectU（雲南市）	かけや森林整備で薪づくり事業	500
雲南の幸を活かしたヘルスケアビジネス（雲南市）	雲南の幸を活かしたヘルスケアビジネス推進事業	500
中国山地フロンティアの会（美郷町）	中山間地域の課題解決体験事業	500
NPO法人出雲神話語り部の会（松江市）	古代出雲の国観光ボランティア団体連携化ステップ・アップ事業	230

##### 【事業化支援】

第1回審査会（9月20日） 申請 6件 → 採択 5件

第2回審査会（2月7日） 申請 6件 → 採択 4件

事業主体（地域）	事業概要	申請額（千円）
公益 出雲在宅療養スキルアップ研究会（出雲市）	介護スキルアップで介護の離職ストッププロジェクト	2,000
都賀本郷連合自治会（美郷町）	都賀本郷ふれあい広場事業	1,098
ただもプロジェクト（奥出雲町）	奥出雲の未来を創るプライド・ブリッジ事業	2,000



経 済	NPO法人くらしアトリエ (雲南市)	島根を体感する19市町村ミュージアム「シマシマしまね」事業	1,650
	NPO法人あいの会 (浜田市)	小麦を活用した稼げる地域づくり事業	1,600
	株式会社ゴウツゲストハウ ジーズ(江津市)	古民家をリノベーションして創るソーシャルコミュニ ケーションプレイス“アサリハウス”	2,000
	うすの会(雲南市)	入間の自然の恵みを届けるプロジェクト	1,383
	母里の郷コミュニティ (安来市)	比婆山の魅力掘り起し地域活性化事業	2,000
	NPO法人らとこんた (隠岐の島町)	隠岐の島町の買い物弱者対策事業と安否確認 活動の調査と事業化を目指して	2,000

## H29の事業展開

- ・助成申請案件の掘り起こしとサポートをきめ細やかに実施
- ・採択団体の取組みや成果について情報発信を強化

※隠岐体験事業は、県において民間への委託にて実施

## ②地域づくり情熱人支援事業

新規事業として、新たなコミュニティービジネスや継続的な地域づくり事業等の創出を目的として、県内外から外部人材(情熱人)を確保して事業に取り組む場合に体験費用を助成

## H28の状況

- ・地域づくり情熱人募集イベント

7月2日、地域づくり情熱人の確保を希望する団体が、東京でのイベント「シマネビト」でアピールを実施

- ・審査会(9月16日)申請9件 → 採択6件

団体名(市町村)	情熱人	活動内容
(株)扇原茶園 (浜田市)	38歳・女性	多機能カフェに常駐し、コーディネーターとして情報を集約・発信。交流活動や生産物販売事業を支援
(一社)奥出雲活性化プロジェクト(奥出雲町)	33歳・女性	農業体験事業の企画・運営、広報プロモーション。たたらをキーワードにした置物や食器などの土産品の開発
旧堀庭園を守り活かす会(津和野町)	30歳・男性	レストラン・食の学校の企画、広報。身体の養生になる場づくりや、暮らしの知恵・技術を学びとして提供
アヨ有機農法塾 (雲南市)	33歳・男性	耕作放棄地を活用した有機野菜の栽培。地域の農産品の販路形成。体験事業の受入・企画
大根島産直市運営委員会(松江市)	37歳・女性	生産農家との作付・出荷量調整。消費者ニーズの把握。ツーリズム事業の受入・企画
里山笑楽校(雲南市)	46歳・男性	かまどご飯体験、まこもたけ収穫体験などの企画運営。棚田カフェのメニュー開発。冒険の森の管理

## H29の事業展開

- ・H28年度採択団体の状況をきめ細やかにフォロー
- ・円滑な団体と情熱人マッチングに向けて、募集告知・イベントを実施
- ・採択団体の取組みや成果について情報発信を強化

## 2. しまね田舎ツーリズム

### H28の状況

- ・実践者向けの県内、県外での各種研修会に加え、新たに農家民宿深掘り講演会を実施
- ・田舎ツーリズムプログラム開発として、浜田市、奥出雲町の2か所を選定し、プログラム造成ワークショップを経てモニターツアーの受入れを実施
- ・民泊施設に対する自動火災報知設備の設置経費の一部を助成(財団独自事業)
- ・実践者の高齢化等により、受入れ先が減少傾向にある。

### H29の事業展開

- ・積極的な実践者の開拓と、小・中・高の体験教育や大学のゼミ合宿、企業の体験研修など、団体・グループ層の誘致に向けたプログラム開発を通じて、体験者の増加を目指す。

## 3. NPO活動支援

### H28の状況

- ・現在県内で283法人が活動しているが、近年認証数が頭打ちとなる中で解散数が増加
- ・法人運営や人材面の等の改善支援を行い、継続的に地域づくりに参画できる主体となることが必要
- ・中山間地域を中心に地域のインフラや機能維持のための担い手としてNPO法人への期待が高まっている。

#### 【法人数の推移】(平成29年1月末現在)

年度	H10~ H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
認証件数	99	35	33	31	15	16	23	22	12	21	9	13	5
解散件数	0	0	4	2	3	7	3	5	8	7	6	9	1
所轄庁の変更						1		2	1		▲2		2
法人総数	99	134	163	192	204	214	234	253	258	272	273	277	283

### H29の事業展開

#### 中山間地域・離島におけるNPO創出伴走支援事業【新規】

予算額: 7,239千円

#### 事業概要

中山間地域・離島において、地域活性化の主体となり得る団体の立ち上げをモデル的に支援(新規設立2団体、既存団体強化2団体)

#### ①きめ細やかな支援(伴走支援)

- ・団体の創出に向け、個別具体かつ段階的にきめ細やかな支援を実施、併せて既存団体の体制も強化

#### ②セミナーの開催

#### ③タウンミーティングの開催

## V. 財団独自事業

### ①情報提供事業

#### ・情報発信強化事業【新規】

「くらしまねっと」、「しまね就活情報サイト」に続き、県内地域づくり団体の活動事例紹介や事業成果等の情報発信を強化するため、地域づくり活動に関するサイトを構築。併せて、財団の顔である財団のポータルサイトもリニューアルを実施

### ②「農業・農村はカッコいい！」和歌募集事業

“農業・農村はカッコいい”を表現した和歌を広く募集し、優秀作品を表彰・顕彰することにより、新たな農業従事や農村移住へつなげるきっかけとする。

### ③ルネッサンス青年団事業

若者による地域活性化に向けた地域活動の強化や、新規就業者の職場定着を目的として、かつての青年団活動のように職場を超えた交流の場、出会いの場を設ける活動を支援

※若者ネットワーク創出事業（30歳の成人式）を統合

### ④ふるさと島根定住推進事業

#### ・田舎ツーリズム体制整備強化事業

田舎ツーリズム民泊施設に対する自動火災報知設備の設置経費の一部を助成

#### ・シングルペアレントのUIターン介護人材確保事業

市町村が産業体験事業のスキームを活用し、シングルペアレントのUIターンによる介護人材確保を行う場合、生活のため必要な自動車（中古車）を県内のディーラーから提供してもらうため、ディーラーに対し委託料を支給

## VI. 財団の人員・組織体制

### (1) プロパー職員 1 名の新規採用

募集期間:H28. 12. 9~H29. 1. 13 → 応募数 56 名  
1 次選考 (書類審査) 合格者 50 名  
2 次選考 (教養試験、論文) 2/5 受験者 47 名 → 8 名選定  
3 次選考 (面接) 2/19 受験者 8 名

採用: 1 名 (男性、31 歳) ※プロパー職員 13 名体制

### (2) 島根県との職員交流 (研修) ※継続

対象者: プロパー職員  
研修先: 島根県 (しまね暮らし推進課 定住支援グループ)  
研修期間: 2 年間 (H28~29 年度)  
※県より主任が派遣中 → UI 課長代理

### (3) 教育庁との連携 ※継続

H23 年度から現職の教員を受入  
学生登録の強化、教員の企業訪問、内定者の研修、就職後の交流会等、  
企業と学校・学生をつなぐ役割 (定数外)

### (4) UI ターンスタッフの増員 (再掲)

きめ細やかな無料職業紹介を実施するため、スタッフ 2 名を採用予定  
(松江 1、浜田 1)

### (5) 無期嘱託職員制度の導入

労働契約法改正に伴い、財団として「無期嘱託職員」制度を新たに創設  
H29. 1. 14 に年度末で財団勤務が 4 年を経過する有期嘱託職員を対象とした  
採用選考試験を実施  
→ 2 名を無期嘱託職員として採用